

# 「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和6年12月10日(火) NO20 文責 <sup>きした</sup>木下 <sup>ふみあき</sup>文秋

## 修学旅行

12月4日(水)から6日(金)にかけて2年生は修学旅行に行ってきました。生徒にとってはかけがえのない修学旅行ですので、思う存分楽しんでほしいという思いと、無事何事もなく連れて帰りたいという職員の思いを詰め込んだのでした。3日間を思い起こして綴ればキリがないのですが、全行程を通して強く感じたことがあります。それは修学旅行中の生徒たちはこの上なく素直であったということです。「日頃は素直ではない」という意味ではありません。つまり、感動することや興奮する場面があると、生徒たちは高揚し、素直に自分を表現できるようになるということだと思います。怒られてばかりでは、面白くもないし素直にはなれないということです。旅行中は本当にいい表情をしていたことをお伝えしたいと思います。そして、何と言っても準備をすることの大切さを改めて感じました。京都では法隆寺や東大寺をはじめ、班別研修において清水寺、金閣寺などの寺院仏閣を見学しました。事前にそのお寺などの歴史や背景を調べておくことが大事で、それなしに行ってはただのお寺にしか過ぎません。班別研修も人が多くて思い通りに行かないことが多かったように見えてましたが、それでも予めそのことも想定して計画をしていたように思います。修学旅行中のきまりの中で、特に重要な「時間を守る」ということについては生徒自身もかなり意識していたようで、そのことが原因で行程に支障をきたすことはありませんでした。3日間の修学旅行の期間中に、多くの失敗と成功体験があったと思います。集団で行動することの難しさや、時と場にに応じて正しい判断をすることの大切さなど、全てが無駄ではなかったと思います。2年生にとっては、修学旅行が終わって何となく脱力感がありますが、卒業までの折り返しを過ぎたところです。あと3か月で3年生となりその後、最後の夏の中体連、最後の体育大会、最後の合唱コンクールを経験し、そして卒業を迎えます。修学旅行で得た学びを生かしてほしいと思います。最後に個人的感想ですが、修学旅行について考えさせられることがいくつかありました。一つは旅費の高騰です。あれだけの額を準備することは各家庭にとってかなりの負担となること。もう一つは安全神話の崩壊。無事帰ってきて当たり前ですが、いつどんなことがあってもおかしくはないという不安。見直しや改善も必要だと感じています。